

第2期境港市総合戦略改訂(案) 対照表

| ページ | 改訂前 | 改訂後 |
|-----|---|--|
| 6 | <p>Ⅲ. 取り組みの基本的方向と基本目標</p> <p>基本目標①3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり</p> <p>本市の有する重要港湾『境港』、特定第三種漁港『境漁港』、国際空港『米子鬼太郎空港』という重要な社会基盤である3つの「港」、日本有数の水揚量を誇る水産資源、水木しげるロードをはじめとした観光資源を生かしたまちづくりを進め、本市の魅力を高めることにより、『ひと』、『もの』の交流を一層促進し、観光の振興と産業の活性化による『しごと』の創出を図り、雇用の拡大、定住促進を目指します。</p> | <p>Ⅲ. 取り組みの基本的方向と基本目標</p> <p>基本目標①3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり</p> <p>本市の有する重要港湾『境港』、特定第三種漁港『境漁港』、国際空港『米子鬼太郎空港』という重要な社会基盤である3つの「港」、日本有数の水揚量を誇る水産資源、水木しげるロードをはじめとした観光資源を生かしたまちづくりを進め、本市の魅力を高めることにより、『ひと』、『もの』の交流を一層促進し、観光の振興と産業の活性化による『しごと』の創出を図り、雇用の拡大、定住促進を目指します。</p> <p><u>また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大きな影響を受けている地域経済を下支えするための施策について、時機を逃すことなく講じます。</u></p> |
| 11 | <p>Ⅳ. 具体的施策</p> <p>基本目標①3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり</p> <p>(2)観光の振興</p> <p>① 観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進</p> <p>本市は、全国に知名度を誇る「水木しげるロード」、水揚げ日本一のカニ、夏のクロマグロなどの水産資源を有し、「さかなと鬼太郎のまち境港市」を標榜する年間200万人以上の観光客が訪れる中国地方有数の観光地です。</p> <p>水木しげるロードの大規模リニューアルが実施され、官民連携による街並み整備が進み、今後も、本市の持つ「鬼太郎」、「水木しげる作品」というオンリーワンの観光資源のさらなる魅力度向上を図るとともに、水産資源を生かした観光の推進や二次交通の充実、新たな観光資源の掘り起しなど観光地としての魅力度向上を図ります。</p> <p>また、民間事業者を主体とした夜間の賑わい創出や滞在時間延長の取組を実施することで、滞在型観光を推進し、さらなる観光誘客を目指します。</p> | <p>Ⅳ. 具体的施策</p> <p>基本目標①3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり</p> <p>(2)観光の振興</p> <p>① 観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進</p> <p>本市は、全国に知名度を誇る「水木しげるロード」、水揚げ日本一のカニ、夏のクロマグロなどの水産資源を有し、「さかなと鬼太郎のまち境港市」を標榜する年間200万人以上の観光客が訪れる中国地方有数の観光地です。</p> <p>水木しげるロードの大規模リニューアルが実施され、官民連携による街並み整備が進み、今後も、本市の持つ「鬼太郎」、「水木しげる作品」というオンリーワンの観光資源のさらなる魅力度向上を図るとともに、水産資源を生かした観光の推進や二次交通の充実、新たな観光資源の掘り起しなど観光地としての魅力度向上を図ります。</p> <p>また、民間事業者を主体とした夜間の賑わい創出や滞在時間延長の取組を実施することで、滞在型観光を推進し、さらなる観光誘客を目指します。</p> <p><u>水木しげる先生が歩んだ100年を継承し、次の100年へ想いをつなげる文化観光創造拠点として水木しげる記念館の再整備を推進します。</u></p> |
| 14 | <p>(3)社会基盤の整備</p> <p>① 境漁港の高度衛生管理型市場の整備(県実施事業)</p> <p>平成26年9月に「境港地区高度衛生管理基本計画」が策定され、災害に強く、消費者の食の安全・安心のニーズに応えることができる高度な衛生管理体制を兼ね備えた、日本一の魅力あふれる漁港・市場を目指し整備が行われてきました。</p> <p>令和元年6月には陸送上屋と1号上屋の供用が開始され、今後も、2号上屋の新築などの整備促進を図るとともに、市場の積極的なPRを行っていきます。</p> | <p>(3)社会基盤の整備</p> <p>① 境漁港の高度衛生管理型市場の整備(県実施事業)</p> <p>平成26年9月に「境港地区高度衛生管理基本計画」が策定され、災害に強く、消費者の食の安全・安心のニーズに応えることができる高度な衛生管理体制を兼ね備えた、日本一の魅力あふれる漁港・市場を目指し整備が行われてきました。</p> <p>令和元年6月には陸送上屋と1号上屋、<u>令和4年8月には2号上屋の供用が開始され、2号上屋の調理室や展示室などを活用し、魚食普及、食育、観光連携などを推進し</u>、市場の積極的なPRを行っていきます。</p> |

| ページ | 改訂前 | 改訂後 |
|-----|---|---|
| 16 | <p>(4)移住・定住の促進</p> <p>① 移住・定住の促進・情報発信の充実</p> <p>本市の社会動態(転入・転出)は社会減(転出超過)の状況が続いており、特に進学、就職を契機とした10～20代の若者の都市部への流出が顕著となっています。</p> <p>社会減の抑制のため、夕日ヶ丘地区における定期借地権制度の活用や移住に向けた情報発信、国・県の補助機関の誘致や自衛隊美保基地の輸送機能強化への働きかけなどを実施し、都市部などから新たな「ひと」を呼び込む移住施策を推進していきます。</p> <p>また、産・官・学が連携し、インターンシップや就職情報サイトの運営、就職フェア開催による地元就職支援など、若者の定住促進施策にも取り組んでいきます。</p> <p>さらに、地元の子どもたちの将来の定住・Uターンを目指し、子どもを対象とした郷土愛づくりへの取組も推進していきます。</p> <p>加えて、境港市への勤務・居住・観光・ふるさと納税等を通じて境港市のファンになった方を「関係人口」として、引き続き、境港市に関わりを持ってもらい、将来的に移住へとつなげていく取組も推進していきます。</p> | <p>(4)移住・定住の促進</p> <p>① 移住・定住の促進・情報発信の充実</p> <p>本市の社会動態(転入・転出)は社会減(転出超過)の状況が続いており、特に進学、就職を契機とした10～20代の若者の都市部への流出が顕著となっています。</p> <p>社会減の抑制のため、夕日ヶ丘地区における定期借地権制度の活用や移住に向けた情報発信、国・県の補助機関の誘致や自衛隊美保基地の輸送機能強化への働きかけなどを実施し、都市部などから新たな「ひと」を呼び込む移住施策を推進していきます。</p> <p>また、産・官・学が連携し、インターンシップや就職情報サイトの運営、就職フェア開催による地元就職支援など、若者の定住促進施策にも取り組んでいきます。</p> <p>さらに、地元の子どもたちの将来の定住・Uターンを目指し、子どもを対象とした郷土愛づくりへの取組も推進するとともに、令和4年7月に開館した境港市民交流センター(みなとテラス)を拠点として、地域を担う人材の育成に取り組んでいきます。</p> <p>加えて、境港市への勤務・居住・観光・ふるさと納税等を通じて境港市のファンになった方を「関係人口」として、引き続き、境港市に関わりを持ってもらい、将来的に移住へとつなげていく取組も推進していきます。</p> |